

28総審第8号

平成28年10月13日

福島県知事 様

福島県総合計画審議会長

福島県総合計画「ふくしま新生プラン」に係る平成28年度施策取組  
状況評価に関する意見書

このことについて、審議の結果、別紙のとおり意見を取りまとめましたので、提言します。

なお、県におかれましては、当審議会の意見を尊重した対応方針を決定されるとともに、今後の施策の推進や評価の改善に生かされることを要望します。

**福島県総合計画「ふくしま新生プラン」に係る  
平成28年度施策取組状況評価に関する意見書**

平成28年10月

**福島県総合計画審議会**

## I 県政／総合計画全般

- 1 原発事故、地震、津波という未曾有の複合災害を経験した福島から、現代社会の諸課題を乗り越える、新たな価値観やライフスタイルを創造・発信していく必要がある。

## II 人と地域が輝く「ふくしま」

- 1 福島県の教育における課題となっている数学の“知識・技能を活用する力”を伸ばすため、算数・数学教育のほか、理科教育も充実する必要がある。
- 2 子どもたちが自分のふるさとに愛着を持って成長していくことが、人口の維持や地域づくり、文化等の発展につながることから、地域の人々との出会いや交流などのきっかけとなる生涯学習の場づくりが重要である。
- 3 東京オリンピックにおける野球・ソフトボール競技の県内開催の可能性が高まりつつあるこの時期をとらえ、オリンピック・パラリンピック競技等の開催や事前キャンプの誘致とともに、県民が生涯にわたってスポーツに親しむための環境整備が必要である。
- 4 過疎・中山間地域の振興にあたっては、都会の若者など地域外の住民の力をどう活用するかという視点だけではなく、彼らに対して地域がどのような価値を提供することができるかという双方向の視点から進める必要がある。

- 5 避難指示区域の解除が進み住民の帰還が加速化されているが、県内外で避難生活を続けている県民一人ひとりの思いに寄り添った支援を継続する必要がある。

### Ⅲ いきいきとして活力に満ちた「ふくしま」

- 1 第一次産業の中でも落ち込みが著しい林業の再生に向け、森林除染とともに、森林の総合的利用のための研究を進め、山村振興につなげていくことが必要である。
- 2 風評・風化対策は、イメージ戦略のみならず、消費者に対し客観的な事実やデータとともに、生産者の想いや物語を伝えていくことが重要である。
- 3 観光業の復興に向け、自然や祭り・イベントなどの観光資源の有機的な結びつきを強めるため、県内外・国内外への情報発信やPRとともに、観光キャンペーン等におけるターゲットの絞り込みが必要である。
- 4 再生可能エネルギー関連産業の中心となるべきものは、太陽光発電や風力発電等に関係する周辺機器、メンテナンス関連、さらには電力送配電関連の仕事であり、県内の既存事業者がこの分野に参入するための取組が必要である。
- 5 第四次産業革命（IoT、ビッグデータ、ロボット、人工知能（AI）等による技術革新）がより具体的に進もうとしており、ICTなどに対する人材育成、能力アップのための教育が重要である。

#### IV 安全と安心に支えられた「ふくしま」

- 1 放射線被曝と健康被害の因果関係が未解明であることから、県民健康調査事業を継続・発展させ、その結果に関する学術研究を進め、県民の健康の維持・増進につなげる必要がある。
- 2 看護職員について、若手・新人看護職員を指導し、見守っていく中堅職員が不足しており、その確保に向けた具体的な取組が必要である。
- 3 福島の復興・再生を実現していくためには、国と東京電力が責任をもって、福島原発全基廃炉と原子力損害賠償の完全実施を実現するよう、県が強く要望していく必要がある。
- 4 避難指示区域の解除に伴い帰還人口・居住人口が増えるが、高齢者の占める割合が高まることが予想されており、今後の発災に備えた、避難計画策定や避難訓練等を進めるとともに、防災意識の向上を図る必要がある。
- 5 震災時の貴重な資料が散逸しないよう、その収集・保存・活用を早急に進め、県内外の人々が震災の記録や教訓等を学ぶ場として、アーカイブ拠点を整備し、東京オリンピック・パラリンピック等の機会をとらえ国内外に発信する必要がある。

#### V 人にも自然にも思いやりにあふれた「ふくしま」

- 1 女性が就職する場合、地方では士（師）業の募集が多いが、子育て世代では家事・育児と資格取得との両立が難しいことから、女性が士（師）業の資格を取るための取組が必要である。

2 里山のような身近な自然から貴重な原生的自然にいたるまで、自然の特性に合わせて、保護と利用の調和を図り、自然環境の保護思想の啓発を図る必要がある。

[ 審議会における審議経過 ]

平成28年	4月27日	福島県総合計画審議会	・総合計画の平成28年度進行管理を審議
平成28年	7月8日	地域懇談会（県南地域）	
平成28年	7月15日	地域懇談会（県北地域）	
平成28年	7月26日	地域懇談会（南会津地域）	
平成28年	7月26日	地域懇談会（いわき地域）	
平成28年	7月29日	地域懇談会（相馬地域）	
平成28年	8月5日	地域懇談会（双葉地域）	
平成28年	8月8日	地域懇談会（県中地域）	
平成28年	8月8日	地域懇談会（会津地域）	・「地域の課題や必要な施策・取組の方向性」と「若い世代の地元定着・地元回帰に向けた課題や取組」について各地域で活躍する方々から意見を聴取
平成28年	9月2日	福島県総合計画審議会	・総合計画の政策分野別主要施策、地域別主要施策を審議